

第7回山歩き会に39人参加

貸切バス・ゴンドラリフトで

8/3 白馬・八方尾根を歩く



八方池手前の広い尾根で記念撮影

晴れていれば背後に白馬連山が間近に

わずかな雲間からの 白馬連山に感動

福老館クリニック 川田 洋子

先日は、楽しいひとときを過ごすことができ、ありがとうございました。

以前より、行ってみたい所のひとつだったので、チラシを見てすぐに申込みました。当日は雨の心配をしましたが、雨具はリュックの底で休憩しているだけで良かったです。

リフトから見る色とりどりの高山植物が心なごませてもおいしかったです。晴

風に語らしめよ

ナラティブホーム 甲田 克志

予期せぬ八方行きに感謝している。誘われれば行くが、自らは動かないという不精さだが、八方池は神々しく、霞の中で垣間見た白馬三山は素晴らしかった。

こんな不精者に山の魅力を語り続けてくれる大先輩がいる。わがナラティブホームの指南役で、無報酬で助けてもらっている八十歳の荒川龍夫医師だ。もちろん硬骨の現役である。金沢大学医学部卒というより山岳部卒で、北アルプスを隈なく徒歩し、小屋の主人ともツアーで、今でもスケッチ目的で立山に登る。剣岳は別格が持論で、山の話題では尽きることはない。スキーの名手でもある。いつ

末娘と一緒に

ウイズ歯科 小竹 彌

初めて参加させていただきました。

今回、僕に厳しく優しい三女(中学二年)に山登りがあらしいけど行ってみるか、と声をかけたところ行くという。三歳で雄山登山を経験している彼女には何か惹きつけるものがあったのかも知れません。

僕の登山には苦行という概念がなく、山小屋で焼き鳥やステーキ、春巻きやら餃子、鮮魚の刺身といった、

まじめな登山家には非常識だと批判されるかもしれないことを、天空で自由にできるのが登山の面白さと思っています。それは、持った上がった人だけに与えられる特権です。

思いがけなく思春期となった娘と一緒に山に登り、歩きながら山で遭難したときの心得や、笹を食べて生き延びた遭難者の話を素直に聞いてくれた彼女に何となく安心しました。

因みに今回の昼食メニューは、有名肉屋さんのサーロインと娘にリクエストされた牛合い挽き肉を使ったハンバーグシチュー。食事の前に作ったコンスープとコーヒーの他に、フカヒレ

幼い頃にいつも一緒に歌っていたケロロ軍曹の歌を歩きながら歌うと、下手な歌を歌わないで恥ずかしいかと彼女：それでもスキをみて歌ったり駆け下りる競争をしたりしながら下山しました。



右より井内、長森、古屋各先生と筆者(左端)



半数の参加者が扇雪渓まで足を伸ばした

第8回 山歩き会のご案内

秋の天蓋山を爽やかに



天蓋山(1,527m)は、岐阜県飛騨市神岡町より双六渓谷、山吹峠を経て山之村キャンプ場(標高約1,000m)が登山口。登山道も整備され、山頂からは360度のパノラマが広がります。下山後は「天空の牧場・山之村」に立ち寄ります。

実施日 10月12日(日)
定員 40人(貸切バスを利用)
参加費 3,000円(小学生以下は半額)
詳しくは協会文化部 076-442-8000

編集後記

一面には女性部企画、ワイン会、最終面に山歩き会と協会の文化企画が目白押し。「飲み会が多いが夫婦で参加できる機会

も感心するのはスキーの手入れで、シーズン前には自らワックスを塗り、万全の準備で怠りない。そういえば旅行に一緒すると、小さなリュックにきれいに折りたたんで必要なものが収まっ

「初音」という居酒屋があるが、軒下の赤い提灯に京都大学山岳部と大きく記さ



八方池は稜線に列ができてほどの人気スポット

いったんページをめくれば個別指導の選定理由が開示されることになったこと、県内病院の適時調査への対応状況など、ここにしかない情報は協会の面目躍如である。六面の病院再編の講演録は、病院関係者だけでなく無床診の先生方にもぜひ目を通していただきたい。厚労省の狙う医療の方向と今後の患者の流れがよくわかると思う。(S・M)